三菱電機株式会社　温度調節ユニット
MELSEC-Q シリーズ
Q64TCTTN

サンプル画面説明書

三菱電機株式会社

サンプルのご利用について

サンプル用の画面データ、取扱説明書などのファイルは、以下の各項に同意の上でご利用いただくものとします。

(1) 当社製品をご使用中またはご使用検討中のお客様がご利用の対象となります。

(2) 当社が提供するファイルの知的財産権は、当社に帰属するものとします。

(3) 当社が提供するファイルは、改竄、転載、譲渡、販売を禁止します。
但し、内容の一部または全てをお客様作成の機器やシステム内の当社製品上でご利用いただく場合はその限りではありません。また、当社製品をご利用いただいたお客様作成の仕様書、設計書、組み込み製品の取扱説明書などへの転載、複製、引用、レイアウトの変更についてもその限りではありません。

(4) 当社が提供するファイルやそのファイルから抽出されるデータを利用することによって生じた如何なる損害も当社は補償をいたしません。お客様の責任においてご利用ください。

(5) 当社が提供するファイルに利用条件などが添付されている場合は、その条件にも従ってください。

(6) 予告なしに当社が提供するファイルの削除や内容の変更を行うことがあります。

(7) 当社が提供するファイルのご使用に際しては、対応するマニュアルおよびマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをしてください。

目次

改訂履歴

サンプル画面説明書

改訂日付	管理番号*	改訂内容
2013/9	BCN-P5999-0088	初版

＊ 管理番号は、右下に記載しています。

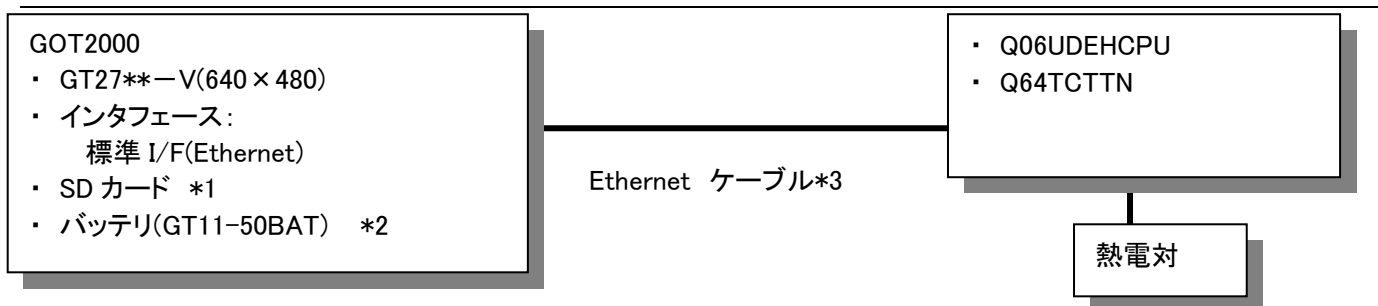
プロジェクトデータ

改訂日付	プロジェクトデータ	GT Designer3*	改訂内容
2013/9	MITSUBISHI_Q64TCTTN_V_Ver1_J.GTX	1.100E	初版

＊ プロジェクトデータ作成時に使用した作画ソフトウェアのバージョンです。記載したバージョンと同等、またはそれ以降のバージョンの作画ソフトウェアを使用してください。

1. 概要

GOT2000 と MELSEC-Q シリーズシーケンサ(Q06UDEHCPU)を Ethernet で接続し、温度調節ユニット(Q64TCTTN)の SV 値変更、PV 値モニタ、MV 値モニタなどを行うサンプル画面の説明書です。

2. システム構成

＊1：SDカードは、ロギング機能・ドキュメント表示機能で使用しています。
＊2：バッテリは、時計データおよびSRAMユーザ領域のロギングデータ・ユーザアラームデータの停電保持に使用しています。(バッテリはGOT本体に標準装備しています。)
＊3：ケーブルの詳細については、「GOT2000シリーズ接続マニュアル(三菱電機機器接続編)」を参照してください。

3. GOT について

3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション

<table>
<tr><th>種類</th><th colspan="3">システムアプリケーションの名称</th></tr>
<tr><td rowspan="2">基本機能</td><td colspan="3">基本システムアプリケーション</td></tr>
<tr><td colspan="2">標準フォント</td><td>日本語</td></tr>
<tr><td>通信ドライバ</td><td colspan="2">Ethernet 接続</td><td>Ethernet(MELSEC),Q17nNC,CRnD-700,ゲートウェイ</td></tr>
<tr><td rowspan="5">拡張機能</td><td colspan="2">標準フォント</td><td>中国語(簡体)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">アウトラインフォント</td><td rowspan="3">ゴシック</td><td>英数かな</td></tr>
<tr><td>日本語漢字</td></tr>
<tr><td>中国(簡体)漢字</td></tr>
<tr><td colspan="3">ドキュメント表示</td></tr>
</table>

3.2 作画ソフトウェアの接続機器の設定

詳細設定

項　目	設定値	備　考
GOT NET No.	1	
GOT 局番	2	
GOT Ethernet 設定	下表を参照	
GOT 機器通信用ポート No.	5001	
リトライ回数(回)	3	
立ち上がり時間(秒)	3	
通信タイムアウト時間(秒)	3	
送信ディレイ時間(ms)	0	

GOT Ethernet 設定

項　目	設定値	備　考
GOT Ethernet 設定を本体に反映する	チェック有り	
GOT IP アドレス	192.168.3.18	
サブネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	
周辺 S/W 通信用ポート No.	5015	
トランスペアレント用ポート No.	5014	

3.3 作画ソフトウェアの Ethernet の設定

	自局	Net No.	局番	機器	IP アドレス	ポート No.	通信方式
1	＊	1	1	QnUD(P)V/QnUDEH	192.168.3.39	5006	UDP

4. 温度調節ユニットについて

4.1 ユニットの先頭入出力番号

ユニットの先頭入出力番号は 0H で設定しています。先頭入出力番号を変更する場合は「8.1 先頭入出力番号の変更」を参照してください。

4.2 温度調節ユニットのパラメータ設定

弊社で動作確認した際の設定値は下記となります。

項　目	設定値	備　考
入力レンジ	2：熱電対 K 測定温度範囲 (0～1300℃)	初期値です。
比例帯(P)	3.0	初期値です。
積分時間(I)	240	初期値です。
微分時間(D)	60	初期値です。
上限出力リミッタ(OH)	100.0	初期値です。
下限出力リミッタ(OL)	0	初期値です。

5. 画面仕様

5.1 表示言語

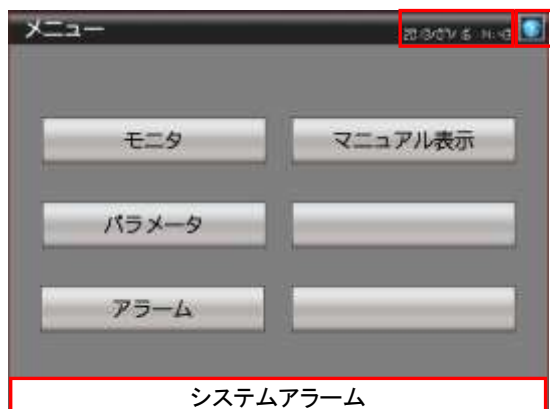
画面上に表示する文字列は、日本語・英語・中国語(簡体)の 3 言語で切り換え表示できます。各言語の文字列は、コメントグループ No.254、255 の列 No.1～3 に下記のように登録しています。言語切り換えデバイスに列 No.を格納すると列 No.に対応した言語を表示します。

列 No.	言語
1	日本語
2	英語
3	中国語(簡体)

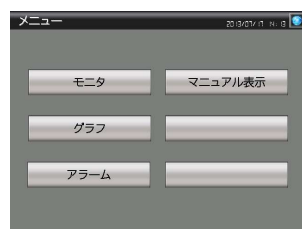
5.2 画面遷移

5.2.1 画面遷移(共通)

ウィンドウ画面 W-30003：時計設定

ウィンドウ画面 W-30002：言語設定

ベース画面 B-30001：メニュー他全ベース画面

ウィンドウ画面 W-30001：アラームリセット

5.2.2 画面遷移(個別)

次頁へ

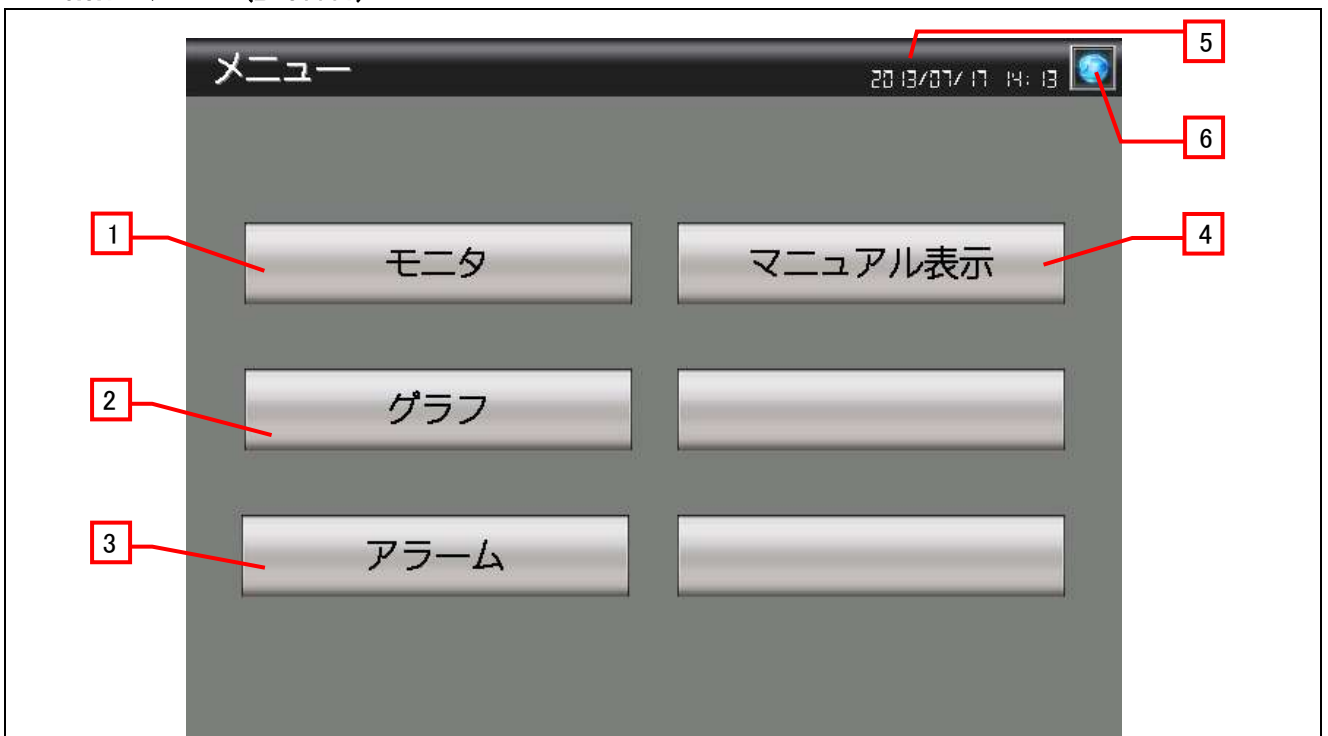
ベース画面 B-30011:グラフ-CH1

ベース画面 B-30012:グラフ-CH2

ベース画面 B-30013:グラフ-CH3

ベース画面 B-30014:グラフ-CH4

5.3 画面説明

5.3.1 メニュー(B-30001)

概要

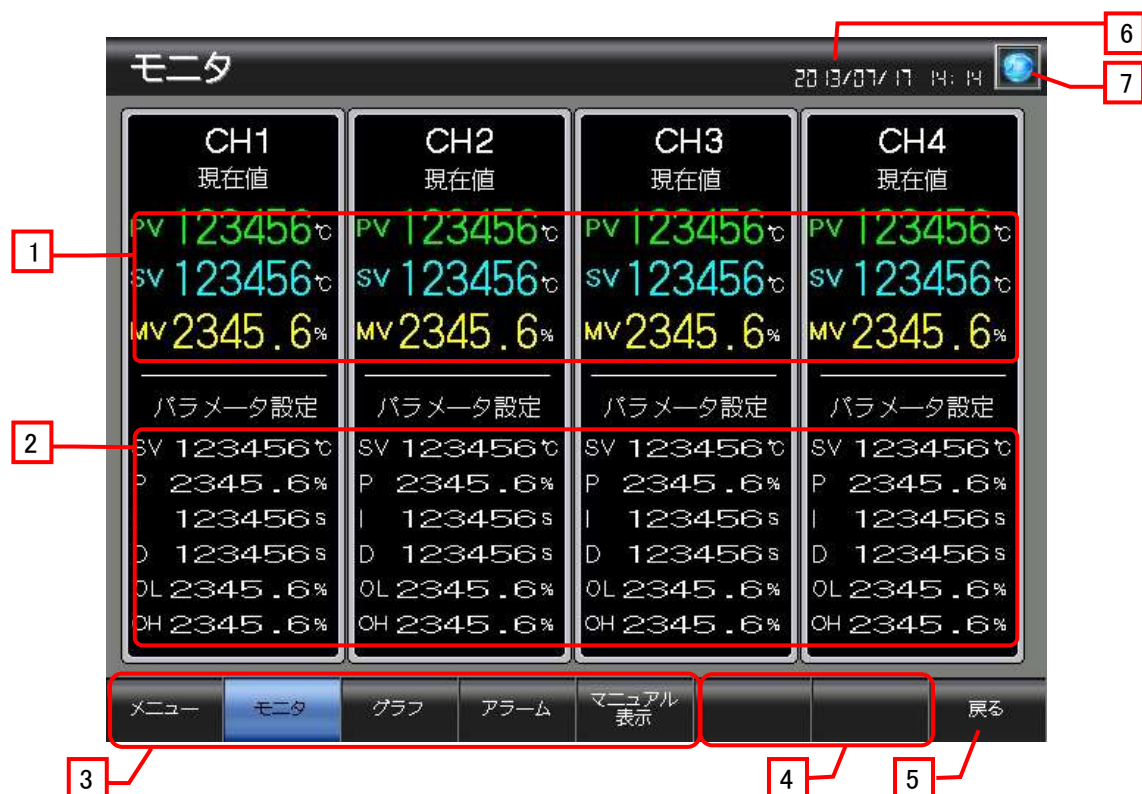
メニュー画面です。

詳細

1. モニタ画面に切り換えます。
2. グラフ画面に切り換えます。
3. アラーム画面に切り換えます。
4. マニュアル表示画面に切り換えます。
5. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
6. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- マニュアル表示スイッチは、現在表示されている言語に対応したマニュアル表示画面に切り換えます。
- 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.2 モニタ(B-30002)

概要

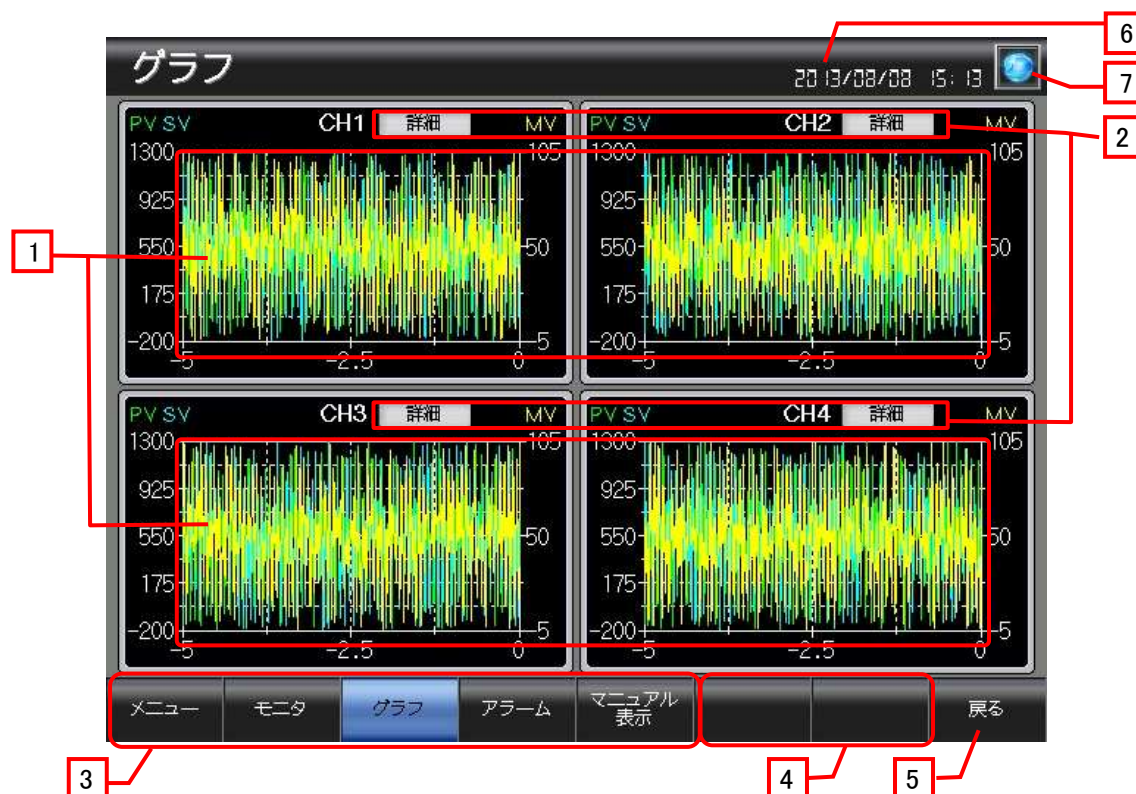
CH1～CH4 の SV 値・PV 値・MV 値を表示します。パラメータの設定値を変更できます。

詳細

1. CH1～CH4 の PV 値・SV 値・MV 値の現在値を表示します。
2. CH1～CH4 のパラメータを表示します。数値をタッチすると設定値を変更できます。
3. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
4. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・マニュアル表示スイッチは、現在表示されている言語に対応したマニュアル表示画面に切り換えます。
・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.3　グラフ(B-30003)

概要

CH1～CH4 の PV 値・SV 値・MV 値をヒストリカルトレンドグラフで表示します。

詳細

1. CH1～CH4 の PV 値・SV 値・MV 値をヒストリカルトレンドグラフで表示します。PV 値は緑色、SV 値は水色、MV 値は黄色でグラフ線を表示します。グラフ上をタッチした状態で左右にフリックすると表示内容が左右にスクロール表示します。また、水平方向にピンチアウト・ピンチインすると時間軸を基準にグラフを拡大・縮小表示します。
2. CH1～CH4 の詳細画面に切り換えます。
3. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
4. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・マニュアル表示スイッチは、現在表示されている言語に対応したマニュアル表示画面に切り換えます。
・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.4　アラーム(B-30004)

概要

CH1～CH4 のアラームを表示します。

詳細

1. アラームを表示します。タッチでカーソルを表示します。タッチでカーソルを表示/非表示します。アラーム表示上をタッチした状態で上下にフリックするとアラームを上下にスクロール表示します。
2. アラームを操作します。
   - 削除　　:選択された復旧済みアラームを削除します。
   - 全削除　:復旧済みアラームをすべて削除します。
   - 確認　　:選択アラームの日時表示(確認)をします。
   - 全確認　:全アラームの日時表示(確認)をします。
   - :上下にページスクロールします。
   - :上下に 1 行ずつスクロールします。
3. ユーザアラーム表示を全てのアラーム表示と CH ごとのアラーム表示に切り換えます。
   - ALL　　:全 CH のアラームを表示します。
   - CH1　　:CH1 のアラームを表示します。
   - CH2　　:CH2 のアラームを表示します。
   - CH3　　:CH3 のアラームを表示します。
   - CH4　　:CH4 のアラームを表示します。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・マニュアル表示スイッチは、現在表示されている言語に対応したマニュアル表示画面に切り換えます。
・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.5 グラフ−CH1(B-30011)、CH2(B-30012)、CH3(B-30013)、CH4(B-30014)

概要

PV 値・SV 値・MV 値をグラフと数値で表示します。SV 値の設定を変更できます。

詳細

1. PV 値、SV 値、MV 値をヒストリカルトレンドグラフで表示します。PV 値は緑色、SV 値は水色、MV 値は黄色でグラフ線を表示します。グラフ上をタッチすると、カーソルを表示します。グラフ上をタッチした状態で左右にフリックすると表示内容が左右にスクロール表示します。また、水平方向にピンチアウト・ピンチインすると時間軸を基準にグラフを拡大・縮小表示します。
2. ヒストリカルトレンドグラフの表示開始位置時刻と表示終了位置時刻を表示します。
3. ヒストリカルトレンドグラフを操作します。
   - 拡大　　　　:グラフの時間軸を新しいデータの軸を基準に、拡大(2 倍)表示します。
   - 縮小　　　　:グラフの時間軸を新しいデータの軸を基準に、縮小(1/2 倍)表示します。
   - ページ<<　　:ページを左にスクロール表示します。
   - スクロール< :グラフを左にスクロール表示します。
   - カーソル←　:カーソルを表示し、カーソルを古いデータの方向にスクロール表示します。
   - カーソル→　:カーソルを表示し、カーソルを新しいデータの方向にスクロール表示します。
   - スクロール> :グラフを右にスクロール表示します。
   - ページ>>　　:ページを右にスクロール表示します。
   - 更新　　　　:カーソルを消去し、最新のデータを表示します。
4. 日時を入力し、時刻指定ジャンプスイッチをタッチすると指定した日時をグラフの中央に表示します。画面初回表示時には日時に現在日時を格納します。
5. PV 値・SV 値・MV 値の現在値を表示します。SV 値はタッチすると設定値を変更できます。
6. 左から順に、−10、−1、+1、+10℃ずつ SV 値を変更します。
7. カーソル位置の日時・PV 値・SV 値・MV 値を表示します。
8. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
9. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
10. 前回表示していた画面に切り換えます。
11. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

12.　言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・ 時刻指定ジャンプスイッチにオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.6　マニュアル表示-言語 1(B-30500)、言語 2(B-30501)、言語 3(B-30502)

概要

表示中の言語に対応したマニュアルを表示します。

詳細

1. マニュアル表示-言語 1(B-30500)～言語 3(B-30502)は、それぞれドキュメント ID 201～203 のドキュメントを表示します。画面初回表示時は 1 ページ目を表示します。ドキュメント上をタッチした状態で 8 方向にフリックするとドキュメントを 8 方向にスクロール表示します。ドキュメントの端が表示されている状態でフリックすると、ページを切り換えます。ピンチイン・ピンチアウトすると、大・中・小の 3 段階で、ドキュメントが切り換わります。
2. 表示しているドキュメントを操作します。
   - :表示しているドキュメントを拡大/縮小します。
   - :表示しているドキュメントを左右にスクロールします。
   - :表示しているドキュメントを上下にスクロールします。
3. 表示しているドキュメントのページを操作します。
   - P. 1 :表示しているドキュメントのページ数を表示します。数値をタッチするとページ番号を変更できます。
   - :表示しているドキュメントをページ送り/ページ戻しします。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・ マニュアルの言語は、マニュアル用に作成するドキュメントの言語となります。マニュアル以外のタイトルやスイッチ銘板の言語は、コメントグループ No.255 の列 No.1～3 に設定されているコメントの言語となります。ドキュメント(ドキュメント ID)とコメントグループ No.255 の列 No.の関係は下表となります。

ベース画面	ドキュメント ID	列 No.
マニュアル表示-言語 1(B-30500)	201	1
マニュアル表示-言語 2(B-30501)	202	2
マニュアル表示-言語 3(B-30502)	203	3

・ GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにてドキュメントページ No.に 1 を設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
・ マニュアル表示用のドキュメントデータは、お客様で作成してください。詳細については、「6.マニュアル表示について」を参照してください。
・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.7 アラームリセット(W-30001)

概要

システムアラームをリセットします。

詳細

1. システムアラームをリセットし、1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

5.3.8 言語設定(W-30002)

概要

GOT で表示する言語を選択します。

詳細

1. 言語を切り換え、ウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

・表示言語にあわせてシステム言語も切り換える設定をしています。
・マニュアル表示-言語 1～言語 3 のいずれかのベース画面を表示中に言語設定ウィンドウで言語を切り換えた場合、選択した言語に対応したマニュアル表示画面に切り換わるように画面スクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。

5.3.9 時計設定(W-30003)

概要

GOT の時計データを変更します。

詳細

1. 現在の日時を表示します。
2. 変更したい日時を▼▲スイッチで設定します。▼▲スイッチは、長押しすると連続で増減します。リセットスイッチは、秒をリセットします。
3. 設定した日時を GOT の時計データに反映し、1秒後にウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

・変更する日時の初期値は、ウィンドウ画面を表示した時の日時です。
・変更する日時の年・月・日・時・分・秒の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。

5.4 使用デバイス一覧

画面上のスイッチやランプなどに設定されている一部のデバイスは、スクリプトなどの共通設定にも設定されている場合があります。これらのデバイスを一括で変更する場合には[一括変更]の使用を推奨します。[一括変更]の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。

5.4.1 接続機器のデバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	U00-G5	CH1 警報発生内容
	U00-G6	CH2 警報発生内容
	U00-G7	CH3 警報発生内容
	U00-G8	CH4 警報発生内容
	U00-G9	CH1 温度測定値(PV)
	U00-G10	CH2 温度測定値(PV)
	U00-G11	CH3 温度測定値(PV)
	U00-G12	CH4 温度測定値(PV)
	U00-G13	CH1 操作量(MV)
	U00-G14	CH2 操作量(MV)
	U00-G15	CH3 操作量(MV)
	U00-G16	CH4 操作量(MV)
	U00-G34	CH1 目標値(SV)
	U00-G35	CH1 比例帯(P)
	U00-G36	CH1 積分時間(I)
	U00-G37	CH1 微分時間(D)
	U00-G42	CH1 上限出力リミッタ(OH)
	U00-G43	CH1 下限出力リミッタ(OL)
	U00-G66	CH2 目標値(SV)
	U00-G67	CH2 比例帯(P)
	U00-G68	CH2 積分時間(I)
	U00-G69	CH2 微分時間(D)
	U00-G74	CH2 上限出力リミッタ(OH)
	U00-G75	CH2 下限出力リミッタ(OL)
	U00-G98	CH3 目標値(SV)
	U00-G99	CH3 比例帯(P)
	U00-G100	CH3 積分時間(I)
	U00-G101	CH3 微分時間(D)
	U00-G106	CH3 上限出力リミッタ(OH)
	U00-G107	CH3 下限出力リミッタ(OL)
	U00-G130	CH4 目標値(SV)
	U00-G131	CH4 比例帯(P)
	U00-G132	CH4 積分時間(I)
	U00-G133	CH4 微分時間(D)
	U00-G138	CH4 上限出力リミッタ(OH)
	U00-G139	CH4 下限出力リミッタ(OL)

5.4.2 GOT の内部デバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	GB40	スクリプトトリガ(常時 ON)
	GD60031.b13	GOT エラーリセット信号
	GD60100.b0、b1、b8～b14	ユーザアラーム監視
	GD60110.b0、b1、b8～b14	ユーザアラーム監視
	GD60120.b0、b1、b8～b14	ユーザアラーム監視
	GD60130.b0、b1、b8～b14	ユーザアラーム監視
	GS512.b0	時刻変更信号
ワード	GD60000	ベース画面切り換え
	GD60001	オーバーラップウィンドウ 1 画面切り換え
	GD60004	オーバーラップウィンドウ 2 画面切り換え
	GD60021	言語切り換え
	GD60022	システム言語切り換え
	GD60031、GD60041	システム情報
	GD60080～GD60082	ドキュメント表示、ページ番号、前頁スイッチ、次頁スイッチ
	GD60100	スクリプト-No.30003
	GD60110	スクリプト-No.30003
	GD60120	スクリプト-No.30003
	GD60130	スクリプト-No.30003
	GD60140	アラーム表示(ユーザ)
	GD61200～GD61202	CH1 ヒストリカルトレンドグラフ　グラフ情報
	GD61203～GD61206	CH1 ヒストリカルトレンドグラフ　カーソル位置時刻
	GD61207～GD61210	CH1 ヒストリカルトレンドグラフ　表示開始位置時刻
	GD61211～GD61214	CH1 ヒストリカルトレンドグラフ　表示終了位置時刻
	GD61215～GD61217	CH1 ヒストリカルトレンドグラフ　表示位置時刻指定
	GD61230～GD61232	CH2 ヒストリカルトレンドグラフ　グラフ情報
	GD61233～GD61236	CH2 ヒストリカルトレンドグラフ　カーソル位置時刻
	GD61237～GD61240	CH2 ヒストリカルトレンドグラフ　表示開始位置時刻
	GD61241～GD61244	CH2 ヒストリカルトレンドグラフ　表示終了位置時刻
	GD61245～GD61247	CH2 ヒストリカルトレンドグラフ　表示位置時刻指定
	GD61260～GD61262	CH3 ヒストリカルトレンドグラフ　グラフ情報
	GD61263～GD61266	CH3 ヒストリカルトレンドグラフ　カーソル位置時刻
	GD61267～GD61270	CH3 ヒストリカルトレンドグラフ　表示開始位置時刻
	GD61271～GD61274	CH3 ヒストリカルトレンドグラフ　表示終了位置時刻
	GD61275～GD61277	CH3 ヒストリカルトレンドグラフ　表示位置時刻指定
	GD61290～GD61292	CH4 ヒストリカルトレンドグラフ　グラフ情報
	GD61293～GD61296	CH4 ヒストリカルトレンドグラフ　カーソル位置時刻
	GD61297～GD61300	CH4 ヒストリカルトレンドグラフ　表示開始位置時刻
	GD61301～GD61304	CH4 ヒストリカルトレンドグラフ　表示終了位置時刻
	GD61305～GD61307	CH4 ヒストリカルトレンドグラフ　表示位置時刻指定
	GD63990～GD63995	時計のデジスイッチ
	GS513～GS516	変更時刻
	GS650～GS652	現在時刻
	TMP950～TMP996	スクリプト演算用

5.5 コメント一覧

コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
254	No.1～36	B-30004(ユーザアラーム監視 ID 30001)
255	No.1、2	B-30001～30502
	No.3	B-30001～30004、B-30500～30502、W-30001
	No.4	B-30001～30004、B-30500～30502
	No.5～8	B-30011～30014
	No.9	B-30002～30004、B-30500～30502
	No.10	B-30002～30502
	No.11	B-30001、B-30500～30502
	No.20、21	B-30002
	No.22～28	B-30002～30003
	No.29～36	B-30002
	No.40～51	B-30004
	No.52	B-30003
	No.60～78	B-30011～30014
	No.100	W-30001
	No.101	W-30002
	No.102～109	W-30003

5.6 スクリプト一覧

項　目	設　定
プロジェクトスクリプト	有り
画面スクリプト	有り:W-30002
オブジェクトスクリプト	有り:B-30011～30014、W-30003

5.6.1 プロジェクトスクリプト

スクリプト No.	30001	スクリプト名	Script30001
コメント	初期設定		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40

```
[w:GD60080]=1;     //ベース画面 30500 のドキュメントページ№を 1 に設定
[w:GD60081]=1;     //ベース画面 30501 のドキュメントページ№を 1 に設定
[w:GD60082]=1;     //ベース画面 30502 のドキュメントページ№を 1 に設定
```

スクリプト No.	30003	スクリプト名	Script30003
コメント	アラーム転送		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時

```
//G デバイスがユーザアラーム監視で使用できないため GOT 内部デバイスに転送します

[w:GD60100] = [w:U00-G5];   //CH1
[w:GD60110] = [w:U00-G6];   //CH2
[w:GD60120] = [w:U00-G7];   //CH3
[w:GD60130] = [w:U00-G8];   //CH4
```

5.6.2 画面スクリプト

ウィンドウ画面 30002

スクリプト No.	30002	スクリプト名	Script30002
コメント	マニュアル表示画面の言語切り換え		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時

```
if(([w:GD60000] >= 30500) && ([w:GD60000] <=30502)){   //ベース画面切り換えデバイス値が 30500～30502 の場合
    if([w:GD60021] <= 1){              //言語が言語 1 の場合
        [w:GD60000] = 30500;           //マニュアル表示-言語 1 画面に遷移
    }
    if([w:GD60021] == 2){              //言語が言語 2 の場合
        [w:GD60000] = 30501;           //マニュアル表示-言語 2 画面に遷移
    }
    if([w:GD60021] == 3){              //言語が言語 3 の場合
        [w:GD60000] = 30502;           //マニュアル表示-言語 3 画面に遷移
    }
}
```

5.6.3 オブジェクトスクリプト

ベース画面 30011

オブジェクト(名称)	スイッチ(ジャンプ)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	立上り GB40

```
//画面表示時に年月日時分秒を格納
[w:GD61215]=[w:GS650];
[w:GD61216]=[w:GS651];
[w:GD61217]=[w:GS652];
```

ベース画面 30012

オブジェクト(名称)	スイッチ(ジャンプ)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	立上り GB40

```
//画面表示時に年月日時分秒を格納
[w:GD61245]=[w:GS650];
[w:GD61246]=[w:GS651];
[w:GD61247]=[w:GS652];
```

ベース画面 30013

オブジェクト(名称)	スイッチ(ジャンプ)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	立上り GB40

```
//画面表示時に年月日時分秒を格納
[w:GD61275]=[w:GS650];
[w:GD61276]=[w:GS651];
[w:GD61277]=[w:GS652];
```

ベース画面 30014

オブジェクト(名称)	スイッチ(ジャンプ)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	立上り　GB40

```
//画面表示時に年月日時分秒を格納
[w:GD61305]=[w:GS650];
[w:GD61306]=[w:GS651];
[w:GD61307]=[w:GS652];
```

ウィンドウ画面 30003

オブジェクト(名称)	数値表示(変更_年)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	立上り　GB40

```
//時計データより本日の年月を取得
[w:TMP950] = [w:GS650] & 0xF000;//設定用時計データより年の下 2 桁の 10 の位を取得
[w:TMP960] = [w:TMP950] >> 12;//桁合せ
[w:TMP968] = [w:TMP960] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP951] = [w:GS650] & 0x0F00;//設定用時計データより年の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP961] = [w:TMP951] >> 8;//BCD->BIN
[w:TMP973] = 2000 + [w:TMP968] +　[w:TMP961];//TMP973 に年を BIN でセット
[w:GD63990] = [w:TMP973];//年をセット

[w:TMP952] = [w:GS650] & 0x00F0;//設定用時計データより月の 10 の位を取得
[w:TMP962] = [w:TMP952] >> 4;//桁合せ
[w:TMP969] = [w:TMP962] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP953] = [w:GS650] & 0x000F;//設定用時計データより月の 1 の位を取得
[w:TMP974] = [w:TMP969] +　[w:TMP953];//TMP974 に月を BIN でセット
[w:GD63991] = [w:TMP974];//月をセット

[w:TMP954] = [w:GS651] & 0xF000;//設定用時計データより日の下 2 桁の 10 の位を取得
[w:TMP963] = [w:TMP954] >> 12;//桁合せ
[w:TMP970] = [w:TMP963] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP955] = [w:GS651] & 0x0F00;//設定用時計データより日の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP964] = [w:TMP955] >> 8;//BCD->BIN
[w:TMP975] =[w:TMP970] +　[w:TMP964];//TMP975 に日を BIN でセット
[w:GD63992] = [w:TMP975];//日をセット

[w:TMP956] = [w:GS651] & 0x00F0;//設定用時計データより時の 10 の位を取得
[w:TMP965] = [w:TMP956] >> 4;//桁合せ
[w:TMP971] = [w:TMP965] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP957] = [w:GS651] & 0x000F;//設定用時計データより時の 1 の位を取得
[w:TMP976] = [w:TMP971] +　[w:TMP957];//TMP976 に時を BIN でセット
[w:GD63993] = [w:TMP976];//時をセット

[w:TMP958] = [w:GS652] & 0xF000;//設定用時計データより分の下 2 桁の 10 の位を取得
[w:TMP966] = [w:TMP958] >> 12;//桁合せ
[w:TMP972] = [w:TMP966] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP959] = [w:GS652] & 0x0F00;//設定用時計データより分の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP967] = [w:TMP959] >> 8;//BCD->BIN
[w:TMP977] =[w:TMP972] +　[w:TMP967];//TMP977 に分を BIN でセット
[w:GD63994] = [w:TMP977];//分をセット
```

```
[w:TMP993] = [w:GS652] & 0x00F0;//設定用時計データより秒の 10 の位を取得
[w:TMP995] = [w:TMP993] >> 4;//桁合せ
[w:TMP996] = [w:TMP995] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP994] = [w:GS652] & 0x000F;//設定用時計データより秒の 1 の位を取得
[w:TMP978] = [w:TMP996] +  [w:TMP994];//TMP978 に秒を BIN でセット
[w:GD63995] = [w:TMP978];//秒をセット
```

オブジェクト(名称)	数値表示(変更_月)		
スクリプトユーザ ID	2		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時

```
// BIN -> BCD 変換

[w:TMP979] = [w:GD63990] - 2000;  //  年の下 2 桁

[w:TMP980] = (([w:TMP979] / 10) << 4) + ([w:TMP979] % 10);  //  年 BIN -> BCD
[w:TMP981] = (([w:GD63991] / 10) << 4) + ([w:GD63991] % 10);   //  月 BIN -> BCD
[w:TMP982] = (([w:GD63992] / 10) << 4) + ([w:GD63992] % 10);   //  日 BIN -> BCD
[w:TMP983] = (([w:GD63993] / 10) << 4) + ([w:GD63993] % 10);   //  時 BIN -> BCD
[w:TMP984] = (([w:GD63994] / 10) << 4) + ([w:GD63994] % 10);   //  分 BIN -> BCD
[w:TMP985] = (([w:GD63995] / 10) << 4) + ([w:GD63995] % 10);   //  秒 BIN -> BCD
```

オブジェクト(名称)	数値表示(変更_日)		
スクリプトユーザ ID	3		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時

```
//  年月設定

[w:GS513] = ([w:TMP980] << 8) + [w:TMP981];  //  変更時刻デバイスに年月セット
```

オブジェクト(名称)	数値表示(変更_時)		
スクリプトユーザ ID	4		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時

```
//  日時設定

[w:GS514] = ([w:TMP982] << 8) + [w:TMP983];  //  変更時刻デバイスに日時セット
```

オブジェクト(名称)	数値表示(変更_分)		
スクリプトユーザ ID	5		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時

```
//  分秒設定

[w:GS515] = ([w:TMP984] << 8) + [w:TMP985];  //  変更時刻デバイスに分秒セット
```

オブジェクト(名称)	数値表示(変更_秒)		
スクリプトユーザ ID	6		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時

```
//  曜日設定

[w:TMP986] = [w:GD63990]; //年(BIN)
[w:TMP987] = [w:GD63991]; //月(BIN)
[w:TMP988] = [w:GD63992]; //日(BIN)

if(([w:TMP987] == 1) || ([w:TMP987] == 2)){//1･2 月の場合のみ前年の 13･14 月として計算するための補正処理
```

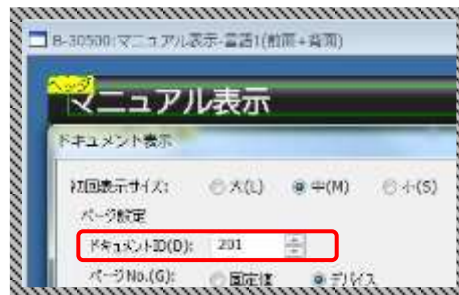
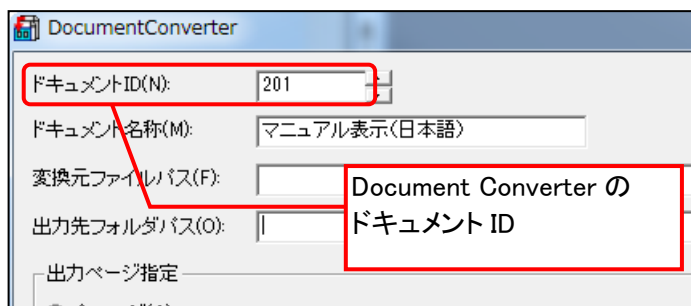
```
    [w:TMP986] =[w:TMP986] - 1; //年から 1 を減算
    [w:TMP987] =[w:TMP987] + 12;//月に 12 を加算
}

[w:TMP989] = [w:TMP986]/4;//ツェラーの公式に必要な項を作成
[w:TMP990] = [w:TMP986]/100;//ツェラーの公式に必要な項を作成
[w:TMP991] = [w:TMP986]/400;//ツェラーの公式に必要な項を作成
[w:TMP992] = (13*[w:TMP987]+8)/5;//ツェラーの公式に必要な項を作成

//ツェラーの公式で曜日算出して変更時刻デバイスに曜日をセット
[w:GS516] = ([w:TMP986]+[w:TMP989]-[w:TMP990]+[w:TMP991]+[w:TMP992]+[w:TMP988])%7;
```

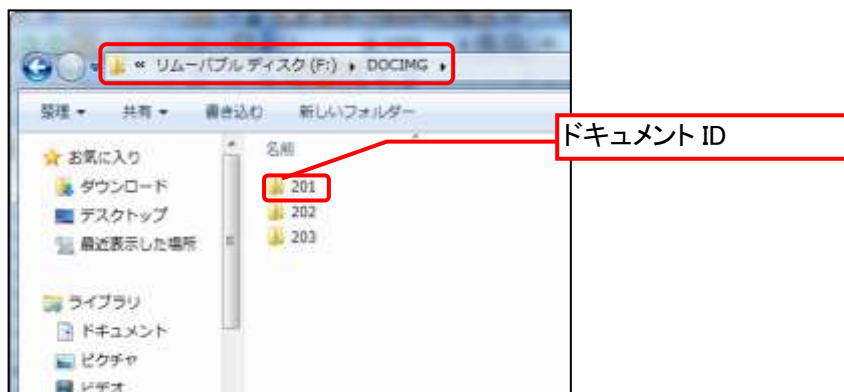
6. マニュアル表示について

マニュアル表示は、ドキュメント表示機能を使用して表示しています。ドキュメント表示機能の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。なお、ドキュメント表示機能は、言語切り換えに非対応のため、サンプル画面では、言語切り換え時に選択した言語のドキュメント(ドキュメント ID)を設定したベース画面を切り換え表示することで言語切り換えを実現しています。

6.1 マニュアル表示用ドキュメントデータの準備

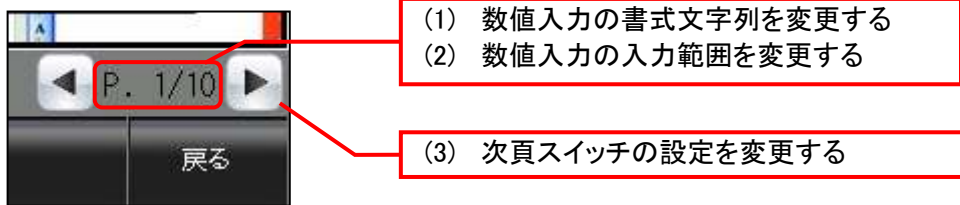
例:ベース画面 B-30500:マニュアル表示-言語 1 にマニュアル(ドキュメント)を表示する場合

(1) 表示するマニュアル(Word や Excel など)を Document Converter を使用してドキュメント表示機能用のドキュメントデータ(JPEG ファイル)に変換します。この際、Document Converter の[ドキュメント ID]には、ベース画面 B-30500 のドキュメント表示の[ドキュメント ID]と同じ値を設定します。

例:ベース画面 B-30500:マニュアル表示-言語 1 のドキュメント表示のドキュメント ID

(2) ドキュメントデータは DOCIMG フォルダの 201 フォルダ内に生成されます。DOCIMG フォルダ以下のフォルダ構成は変更せずに、DOCIMG フォルダごと SD カードのルートディレクトリに保存してください。

SD カードのフォルダ構成

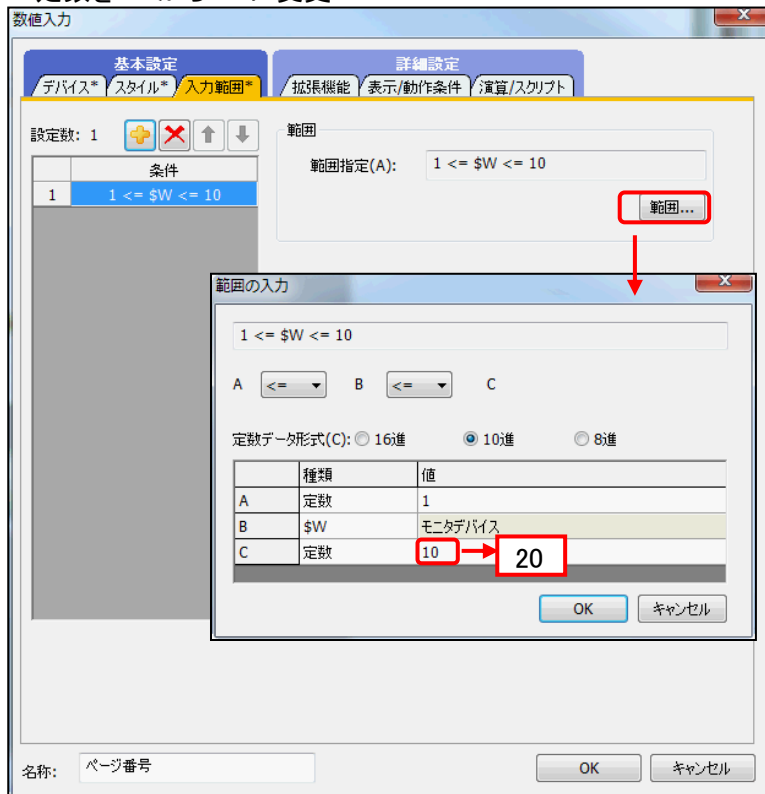
6.2 ドキュメントの総ページ数の変更

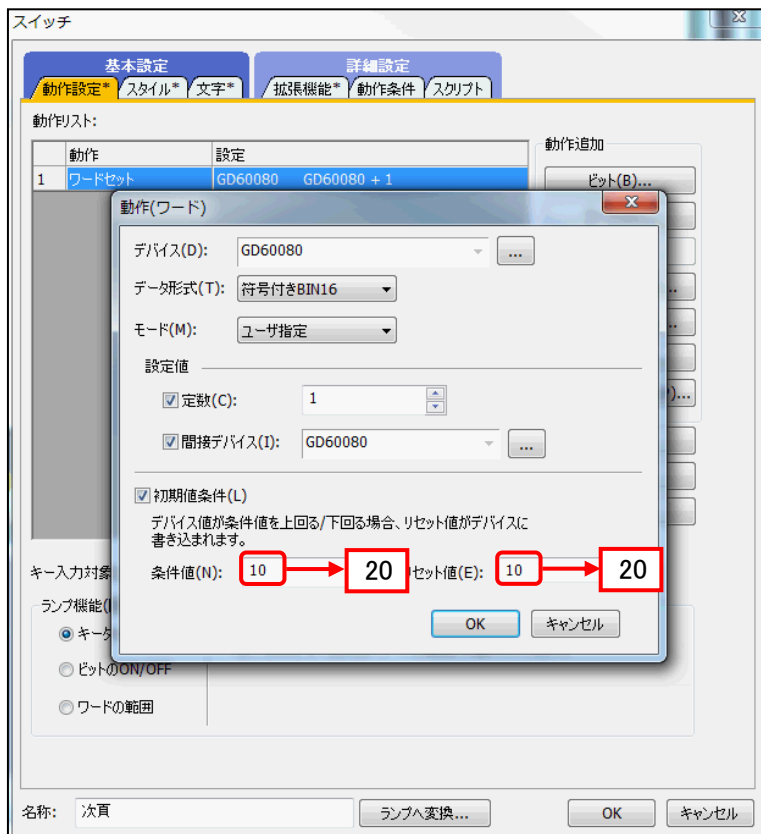
表示するドキュメントの総ページ数に合わせて、画面右下に表示する総ページ数を変更してください。

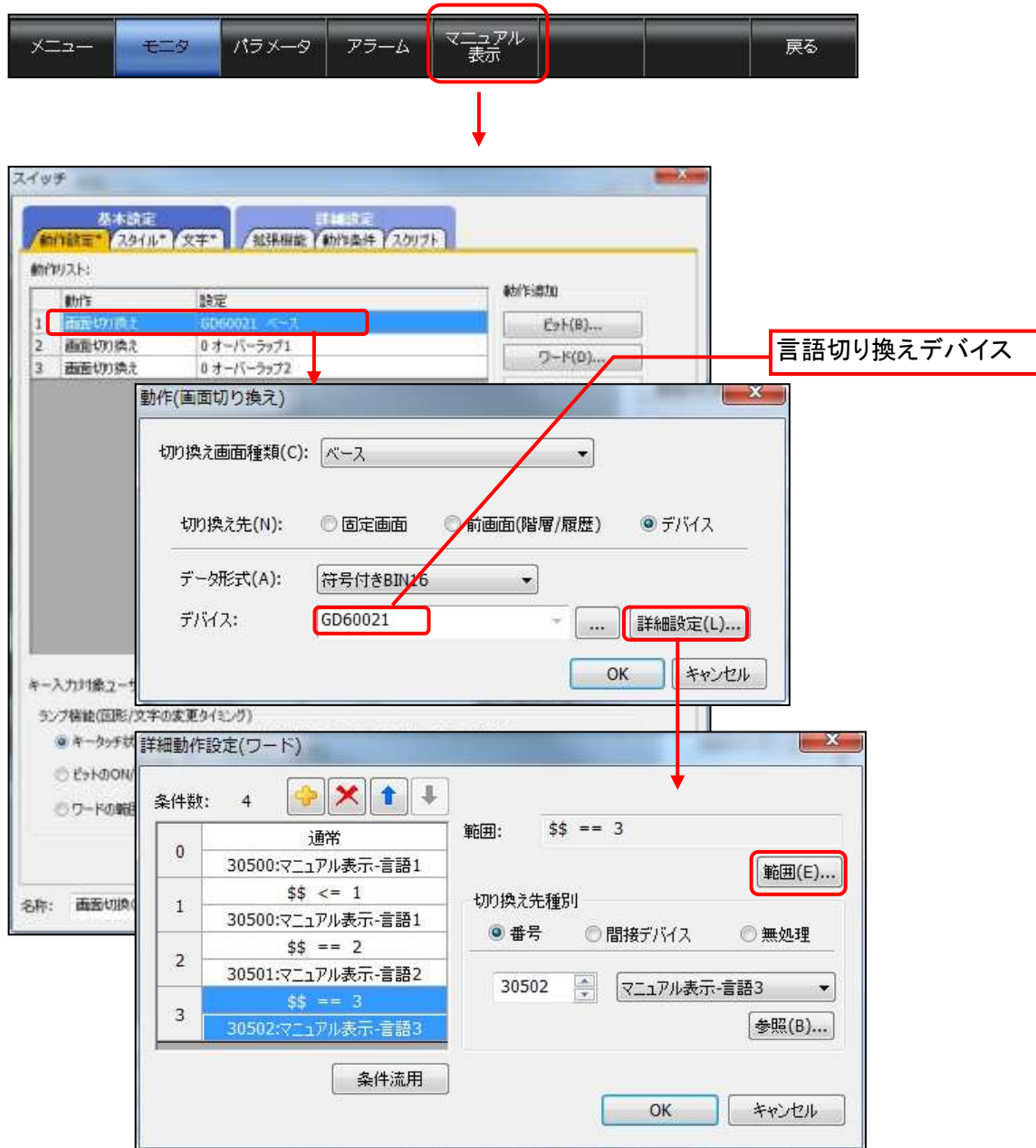
例:ドキュメント総数を 10 ページから 20 ページに変更する場合

(1) 数値入力の書式を変更する。

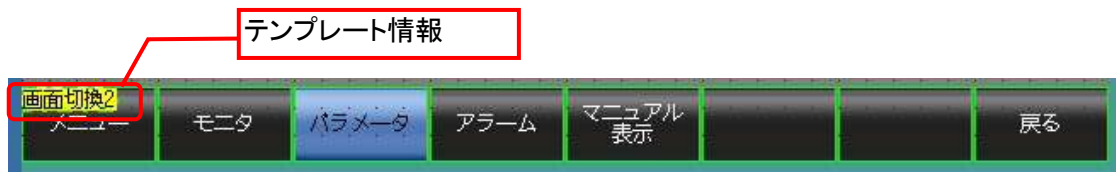
1. 数値入力をダブルクリックし、ダイアログボックスの[デバイス]タブを表示
2. [書式文字列]を「P.##/10」から「P.##/20」に変更

(2) 数値入力の入力範囲を変更する。

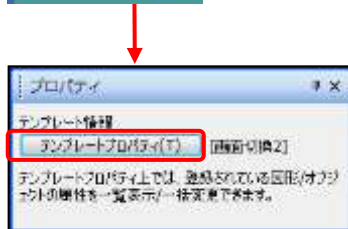
1. ダイアログボックスの[入力範囲]タブを表示
2. [範囲]をクリックし、[範囲の入力]ダイアログボックスを表示
3. 定数を 10 から 20 に変更

(3) 次頁スイッチの設定を変更する

1. ダイアログボックスの[動作設定]タブを表示
2. [動作 1]をダブルクリックし、[動作(ワード)]ダイアログボックスを表示
3. [条件値]、[リセット値]を 10 から 20 に変更

6.3 「マニュアル表示」スイッチの設定

「マニュアル表示」スイッチは、言語切り換えデバイスに格納された列 No.によって表示するマニュアル画面を指定しています。列 No.の詳細については、「5.1 表示言語」を参照してください。

7. テンプレート

テンプレートとは、図形やオブジェクトの集合体です。関連のある設定をテンプレート属性としてまとめて登録しているためデバイスや色などを簡単に一括変更できます。属性の設定値を変更する詳細については、「GT Designer3（GOT2000）ヘルプ」を参照してください。

テンプレート情報は作画ソフトウェアの編集画面上にのみ表示され、GOT の表示画面上には表示されません。

例：フォントを変更する場合

(1)　[テンプレート情報]を選択し[テンプレートプロパティ]をクリック(または[テンプレート情報]ダブルクリック)

テンプレートに登録されている図形やオブジェクトが選択状態になります。

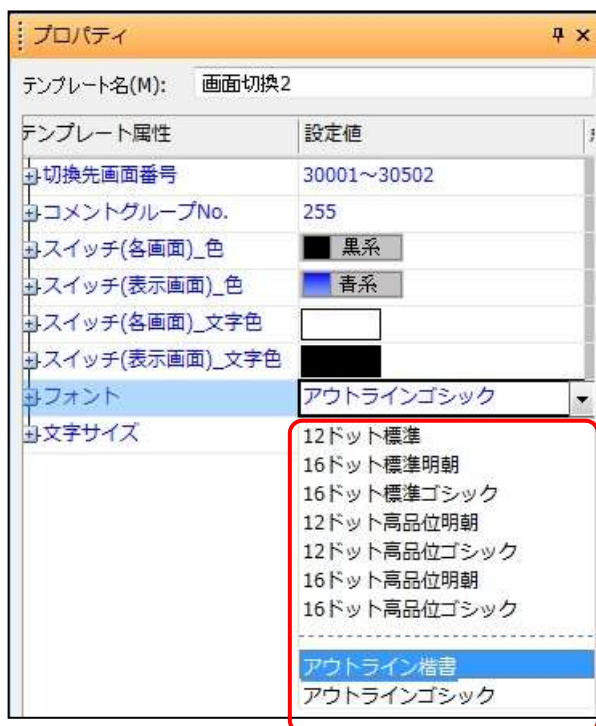
(2)　[フォント]の設定値をクリックして、変更したいフォントを選択

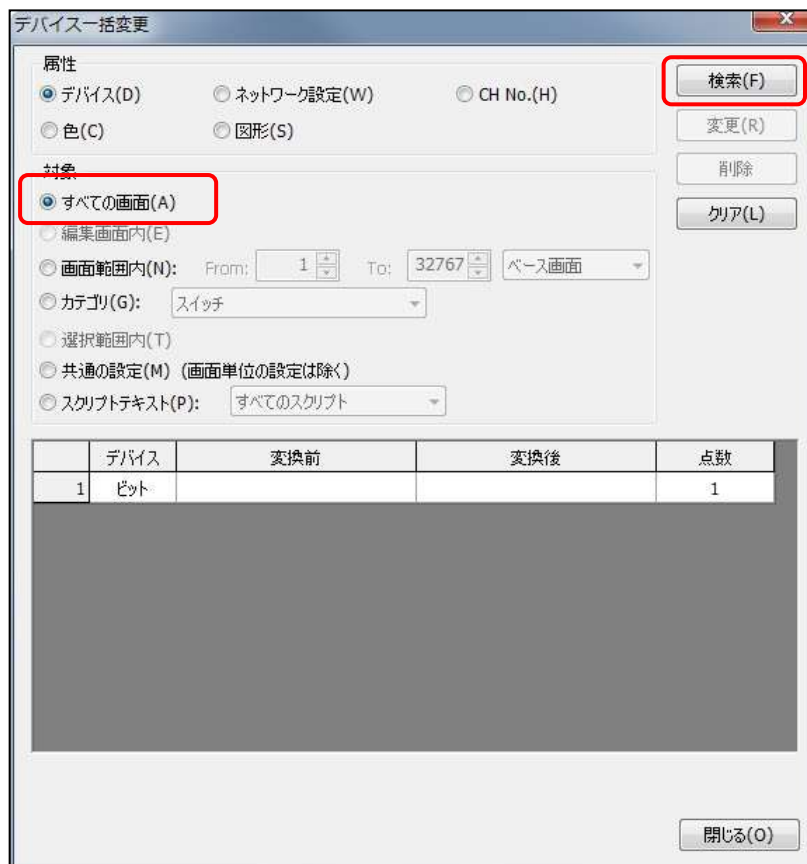
8. その他

8.1 先頭入出力番号の変更

ユニットの先頭入出力を 0H 以外に変更する場合は、以下の手順で変更してください。
(例：先頭入出力番号を 0H から 20H に変更する場合)

8.1.1 画面に設定されているデバイスの場合

画面に設定されているデバイスを変更する場合は、デバイス一括変更の対象を[すべての画面]にします。
[すべての画面]を選択して変更するデバイスは U00-G9～U00-G139 です。

(1) [検索/置換]ー[一括変更]ー[デバイス]を選択します。

(2) 設定ダイアログが表示されるので、対象[すべての画面]を選択し、[検索]をクリックします。

(3)　[変換後]のデバイス、[点数]を設定して、一括変更を実施します。

[変換前]U00-G9、[変換後]U02-G9、[点数]131 を設定して[変更]をクリックします。U00-G9～U00-G139 が U02-G9～U02-G139 へ変更されます。

8.1.2　共通の設定に設定されているデバイスの場合

[GOT 環境設定]や、拡張アラーム等の各種機能で設定されているデバイスを変更する場合は、デバイス一括変更の対象を[共通の設定]にします。8.1.1 と同様の手順で実施してください。

[共通の設定]を選択して変更するデバイスは U00-G9～U00-G130 です。

[変換前]U00-G9、[変換後]U02-G9、[点数]122 を設定して[変更]をクリックします。U00-G9～U00-G130 が U02-G9～U02-G130 へ変更されます。

8.1.3　スクリプトテキストに設定されているデバイスの場合

スクリプトテキストに設定されているデバイスを変更する場合は、デバイス一括変更の対象を[スクリプトテキスト]にします。8.1.1 と同様の手順で実施してください。

[スクリプトテキスト]を選択して変更するデバイスは U00-G5～U00-G8 です。

[変換前]のアドレス U00-G5 の[変換後]のアドレスを U02-G5、[点数]を 4 に設定して[変更]をクリックします。U00-G5～U00-G8 が U02-G5～U02-G8 へ変更されます。